

産業振興で元氣な地域づくり

●●● 新年度の事業計画と予算が決定 ●●●

産業振興財団では、2月24日に理事会を開催し、新年度の事業計画等を決定しました。

世界経済は、依然、厳しい状況にあり、新年度においても不透明な状況にあります。こうした背景の中で、兵庫県でまとめた2008工業統計調査では、東播磨地域は製造出荷額において10地域ある県民局中、6年連続の1位となっており、市町別でも明石市は4位と健闘した数字が残っています。

産業振興財団では、市内企業の躍進が、元氣な明石のまちづくりの原点であると考え、新年度においても産・学・官の連携のもとで、企業へのトータルサポートに努めてまいります。

新年度の予算総額は、2億4,328万円で、人件費等の削減に努め前年度比94%となっています。
 (詳しくは、財団ホームページに掲載しています。)



新たな事業充実で

企業サポート 開かれた財団運営



昨年度のシーケンス講座

明石工業高等専門学校との連携による実技講座の実施

昨年度から実施した「シーケンス制御の基礎を学ぶ」に続き、「機械加工の基礎講座」、「CADの基礎講座」を実施します。

技術相談の充実

「技術支援コーディネーター」を配置し、企業へのサポートを充実します。

情報発信の充実

市内企業約300社への「情報定期便」の内容充実、「あかしものづくり企業サイト」の登録企業の拡大を図ります。

財団運営体制の充実

新たな時代に対応した新会計システムの導入や、財団運営の透明性を確保するための諸規定を整備します。



情報定期便の発送準備

※ なお、「平成22年度事業計画(概要)」は本紙の折込をご覧ください。



技術実習講座 シーケンス制御の基礎を学ぶ

明石高専の設備を活用、高専の教員が複数で直接指導します。

実習を中心にして少数の受講生を複数の教員がサポートするため、全受講生がそれぞれのレベルに応じた手厚い指導を受けられます。

対象者 シーケンス制御の基礎とPLC（※）の初歩的な使い方を身につけたい方
（※ PLCとはシーケンス制御器の一般名称です。）

受講場所 明石工業高等専門学校
電気情報工学科 演習室等

募集定員 10人（締切は4月30日ですが、定員になり次第締め切ります。）

受講料 35,000円

申込先 財明石市産業振興財団
TEL：078-936-7915 FAX：078-936-7916

日程		内容
1日目	5月15日(土)	シーケンス制御回路の基礎
2日目	5月22日(土)	シーケンス制御回路の設計と製作
3日目	5月29日(土)	PLCの基礎
4日目	6月5日(土)	PLCによる制御

※ いずれも午前10時～午後5時

講座内容のお問合せ先

明石工業高等専門学校（電気情報工学科）
E-mail：fujino@akashi.ac.jp TEL：078-946-6130
※ 出来ればメールでお願いします。

社会保険実務研修

健保・年金の 手続きを学ぶ



総務や人事担当には欠かせない、健康保険・厚生年金の知識。その手続きなどについて最新の情報と質問にお答えします。

日時 5月19日(水) 午後2時～4時
場所 産業交流センター4階研修室
講師 明石年金事務所
厚生年金適用調査担当課長
中村由紀子 氏
定員 30名（先着順）
受講料 無料

兵庫県立大学健康セミナー



糖尿病で健康生活

糖尿病の正しい知識で健康生活を！このセミナーでは、細胞の成り立ちから日常生活まで、糖尿病にスポットをあててわかりやすく紹介します。

日時 4月22日(木) 午後2時～4時
場所 産業交流センター4階研修室
講師 兵庫県立大学 看護学部 講師 宮芝 智子 氏
定員 50名（先着順）
受講料 無料

これらの講座の申し込みは…

財明石市産業振興財団 へ

TEL：078-936-7915 FAX：078-936-7916
E-mail:info@aicc.or.jp

新入社員研修

即戦力の ビジネスマナーを学ぶ



新入社員の皆さんに、会社の一員として、役立つ様々な知識を学んでいただきます。

申し込み、詳しい内容は…

明石地域雇用開発協会（商工会議所内）へ

TEL：078-911-1331 FAX：078-911-6738
共催：明石商工会議所・明石市・財明石市産業振興財団 その他

開催場所 明石商工会議所

<第1日目>

日時 4月8日(木) 午前10時～午後4時半
研修会 ・職場のコミュニケーションと仕事姿勢
ほか
講師 (株)ウイズネス
能力開発トレーナー 保田依鈴巳 氏

<第2日目>

日時 4月9日(金) 午前10時～午後3時
講演会 「社会人スタートとしての視点」
講師 変革クリエイター 吉川 隆久 氏
懇親会 「懇親ボウリング大会」

※ 1日だけの参加も可

産学官連携でものづくり企業を応援

高専&工技センター ものづくり支援セミナー in 明石 75名参加



中村智彦先生の基調講演



明石高専と工技センターのパネル展示

1月28日(木)産業交流センターで地域企業や支援機関等多くの方が一堂に集まり、ものづくりへの相互理解と交流を深めました。

基調講演では「激動の時代! 中小企業の生きる道~ものづくりの現場より~」をテーマに神戸国際大学の中村智彦先生に講演を頂きました。

親子で楽しむロボット教室に300人が参加

1月16日(土)
産業交流センターで開催

当日はNHKロボコンに出場した明石高専と神戸高専のロボット対決や操縦体験・工作教室などを実施。

参加者たちは、ロボットの技術に触れ、科学への興味を深める1日となりました。



操縦を体験する子どもたち



工作に取り組む親子づれ

これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ(内容)	実施予定
ライフプランセミナー	豊かな人生を過ごすために、必要なライフプランニングなど	5月
金融・経済セミナー	投資環境、資産の管理・活用など(3回シリーズ)	6月~7月

※上記のセミナーについては、広報あかし・情報定期便等で順次お知らせしていきます。

新しい科学・技術用語の解説 「製品を“使いやすい”するためのユーザビリティ評価」

「使いやすさ」の評価方法を総称して「ユーザビリティ(Usability)評価」と呼んでいます。これまでに様々な手法が提案されています(図1)。その中でも最近、「ユーザーテスト」という製品の操作性の問題点を見つけ出す手法が注目されています。携帯電話やカーナビ等の多機能で操作の複雑な製品が増えていることが背景としてあります。

ユーザーテストでは、実製品と同じ操作ができる試作品を使って実験を行います(図2)。例えば「この操作パネルを使って、予約の設定をして下さい」などの課題を被験者に行ってもらいます。実験中は、被験者の操作や行動を観察し、操作ミスや戸惑い箇所について検証します。この方法により、設計者が当たり前と思っている操作方法や機能説明が、使用者にとっては理解できていないということが良くわかります。5人程度の被験者でユーザビリティの問題点、改善点の85%を発見できるとまで言われています。

近年、製品開発におけるユーザビリティ評価の重要性が増しています。兵庫県立工業技術センターでは、ユーザーテストを取り入れた製品開発手法について研究を行っています。

解説者:兵庫県立工業技術センター ものづくり開発部 平田 一郎氏

評価方法	内容
ユーザーテスト※	被験者による操作実験 など
生理学的実験	製品使用時の脳波や脈拍計測 など
人間工学的計測	・人体部位の平均寸法と製品サイズを適合 ・筋電位の計測による人体負荷の計測 など
アンケート、インタビュー	製品に対する感想や好みの調査
チェックリスト	想定される問題点項目の確認、評価

【図1 代表的なユーザビリティ評価方法】



【図2 ユーザーテスト】

会社拝見

Vol.43

(株)テクノツリー

所在地：明石市魚住町清水534-7 資本金：3,000万円
従業員：104人 HP：http://www.technotree.com/



代表取締役
木下 武雄 氏

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：次の3本柱で、相互のシナジーを追求しながら事業を展開しています。

1. 自動車や産業機械用マニュアルを中心に、3DCGを活用したアニメーション制作やWebサイト構築などのコンテンツ事業
2. 生産管理、メンテナンス、サービスといった製造業向けのシステム受託開発事業
3. これら2つの事業を組み合わせ、国内での世代交代や海外への技術移転をサポートする技術・技能伝承事業

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：技術と人をつなぐインターフェイスの役割りを追求することです。顧客企業の製品やサービスをより分かりやすい内容に変え、ネットを中心に様々なメディアを通して配信し、関係する人々が交流できるシステムの提供を目指します。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：「平均的でなくてもいい、一芸に秀でた人を発掘していきたい」という発想の下、若手とベテランがベアで仕事を進める風土があることです。例えば、ITに強い若手社員とものづくりに詳しい熟年社員がベアで仕事を進めることで、分かりやすく斬新で他社を凌駕するコンテンツが提供できます。

Q：「ものづくり」に対するこだわりについてお聞かせください。

A：お客様から要求されたことを実現した製品やサービスを提供するのはもちろんです。加えて、お客様が持っておられる潜在的なニーズを引き出すと共に、当社の持っている技術を組み合わせることで、トータルなソリューションを提供して行きます。これにより、より魅力的な製品やサービスを提供し、顧客満足度を向上させます。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：製品と技術面では、バーチャルリアリティ分野でのお客様サポートに注力します。営業面では、本社のある関西地区に止まることなく、巨大マーケットである東京と名古屋地区での顧客開拓に注力して行きます。また日々の顧客対応から市場ニーズを把握し、フレキシブルかつタイムリーに対応して行きます。



産業機械用
マニュアル

コンピュータグラフィックス
によるイラスト



ビジュアルマニュアル作成ソフト
Mastree

新着!! DVDのお知らせ



新入社員ブートキャンププログラムシリーズ

マインド・キャリア編	社会人の心得 5つのルール
ビジネス知識編	①会社の仕組み～会社で働くということ～ ②会社の数学～財務3表から読み解く会社経営～
ビジネスマナー編	①社会人の身だしなみ ②電話対応のマナー ③応対接客のマナー
コミュニケーション編	①仕事の鉄則「ホウレンソウ」 ②ロジカル・プレゼンテーション ～納得・合意を得て相手を動かす技術～
ビジネススキル編	①仮説思考とロジカル・シンキング ②目標設定～成果をもたらす目標の条件～ ③行動計画と時間管理～効率的に仕事を進めるために～ ④企画書作成の基本 ⑤PDCA～成果をあげる仕事術～



産業交流センター3階の情報ライブラリーでは、来館者が自由に閲覧し、貸出できるように、産業関係の図書やビデオソフト、DVD、雑誌を取り揃えています。このたび、新着DVDが入荷しましたので、ぜひ社内研修等にご利用ください。

ご利用ください 企業活動を支援する各種の相談

産業交流センターでは、企業活動を応援するため3階相談室で各種の相談事業を実施しています。気軽にご利用ください。

経営相談
毎週 火～金曜日
10:00～15:00
明石商工会議所協力

技術相談
毎週 火～金曜日
10:00～17:00
明石テクノネットワーク協力

発明・特許相談
毎月 第2・4土曜日
13:00～16:00 (要予約)
社発明協会兵庫県支部協力

